

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	放置自転車対策事業			事業コード	1474
所属コード	087000	課等名	交通政策課	係名	交通対策係
課長名	千田 敏	担当者名	舘山 晃治	内線番号	2764
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（旧総合計画体系における位置づけ）

総合計画 体系（旧）	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード	8
	基本事業	自転車，歩行者のための交通環境の構築	コード	3
予算費目名 (H26)	一般会計 8 款 4 項 9 目 放置自転車等対策事業（001-05）			
特記事項 (H26)				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	年度
根拠法令等 (H26)	盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例等，盛岡市自転車等駐車場条例等			

(2) 事務事業の概要

歩行者の通行の妨げとなる路上自転車の放置を防止するため，盛岡駅前等の放置禁止・規制区域において自転車の撤去，保管・返還の業務を行うと共に，盛岡駅前自転車駐車場の管理を行う。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

平成 7 年の盛岡市自転車等放置防止条例施行に伴い実施した。

条例制定前は，市の自転車放置防止要綱に基づき放置防止を指導していたが，放置自転車の状況から要綱では効果の面で限界が生じてきた。また，全国の自治体の取り組み状況などを勘案して，新たな方策を検討する必要性が生じてきたため，条例の制定に至ったものである。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

放置自転車は年々減少傾向にあるが，依然，年間約 1,400 台の自転車を撤去しており，引き続き撤去等の対策が必要な状況にある。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）対象（誰が，何が対象か）

盛岡駅周辺の路上に放置されている自転車等

（2）対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 盛岡駅前自転車駐車場の収容台数	台	1, 862	1, 862	1, 862	1, 862	1,404
B						
C						

※平成 25 年度までの実収容台数は 1,412 台である。また，平成 26 年度実績は平成 26 年 4 月から 11 月までの収容台数であり，平成 26 年 12 月からの収容台数は 742 台である。

（3）26 年度に実施した主な活動・手順

放置禁止・規制区域において，放置された自転車の撤去業務，保管・返還業務，盛岡駅前自転車駐車場の管理運営業務を委託等にて実施した。

撤去業務受託者の車両を用いて，放置自転車が歩行者等に対し迷惑をかけているとの広報活動を行った。

平成 26 年 4 月 1 日から，盛岡駅前自転車駐車場と盛岡駅西口自転車等駐車場との共通利用を開始した。

盛岡駅前自転車駐車場の老朽化している 2 段式自転車ラックを，1 段式の自転車ラックに更新した。

（4）活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 禁止区域内の放置自転車等撤去台数	台	1, 756	1, 841	1, 499	1, 656	1,335
B 年間の自転車駐車場の利用台数	台	58, 578	59, 774	58, 782	52, 079	58,588
C						

（5）意図（対象をどのように変えるのか）

路上における放置自転車を防止していくことで，歩行者の通行の確保や体の不自由な方への危険の回避を図るほか街の美観を保持する。また，自転車所有者に対し，自転車を放置しないというマナーの向上を促す。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 禁止区域内の放置自転車等撤去台数	□上げる ■下げる □維持	台	1, 756	1, 841	1, 499	1, 656	1,335
B 1 日当りの平均利用率（年間駐輪場 利用台数／365／駐輪場収容台数）	■上げる □下げる □維持	%	8.6	8.8	8.6	7.6	11.4
C	□上げる □下げる □維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 計画	26 年度 実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0	0
	②県	千円	4, 206	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0	0
	④一般財源	千円	23, 284	26, 949	27, 134	26,179	28,635
	⑤その他()	千円	17, 299	16, 517	15, 052	18,414	14,321
	A 小計 ①～⑤	千円	44, 789	43, 466	42, 186	44,593	42,956
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	3, 000	4, 000	4, 000	2,000	4,000
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	12, 000	16, 000	16, 000	8,000	16,000
計	トータルコスト A+B	千円	56, 789	59, 466	58, 186	52,593	58,956
備考							

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

歩行者の通行の確保や体の不自由な方への危険の回避及び街の美観保持を目指しているため、整合性が図られている。

② 市の関与の妥当性

条例に基づく事業であるため、市が行うべきものである。

③ 対象の妥当性

条例に基づく対象であり，妥当である。

④ 廃止・休止の影響

盛岡駅周辺の放置自転車が増加する恐れがあるため，歩行者の通行の確保や体の不自由な方への危険の回避及び街の美観保持に与える影響が大きい。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

駐輪案内業務による自転車等駐車場の周知及び利用促進活動により成果向上の余地がある。

(3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

特定の受益者はいない。

(4) 効率性評価

自転車撤去，駐輪場の管理とも必要最低限の事業費で行っており削減の余地はない。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画 体系（新）	施策（方針）	交通環境の構築	コード	27
	小施策（推進項目）	自転車，歩行者のための交通環境の充実	コード	3

(2) 改革改善の方向性

盛岡駅前自転車駐車場及び盛岡駅西口自転車等駐車場の周知を強化することにより放置自転車の削減が見込まれる。

早朝又は夕方など，通常は撤去を行っていない時間に撤去業務を実施し，自転車の放置防止の周知を強化することで，放置自転車の削減が見込まれる。

(3) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

通常の撤去を行っている時間に撤去業務ができなくなるが、通常通り撤去を実施する日と昼間又は夕方の撤去を実施する日を不定期に定めることで、影響を小さくすることができると考えられる。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

放置自転車の撤去保管等は従来どおり行う必要があるが、放置禁止・規制区域における路上放置の未然防止強化を図る必要がある。